

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【公開番号】特開2011-80059(P2011-80059A)

【公開日】平成23年4月21日(2011.4.21)

【年通号数】公開・登録公報2011-016

【出願番号】特願2010-220878(P2010-220878)

【国際特許分類】

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/50 (2006.01)

C 0 8 K 5/521 (2006.01)

C 0 8 K 5/10 (2006.01)

C 0 8 G 64/04 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 69/00

C 0 8 K 5/50

C 0 8 K 5/521

C 0 8 K 5/10

C 0 8 G 64/04

【誤訳訂正書】

【提出日】平成26年5月19日(2014.5.19)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 2 5

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 2 5】

【表 1】

脂肪酸カルボン酸エステルとしてのグリセロールモノステアレート (GMS)

		1 *	2 *	3 *	4	5
PC 1	%	95	95	95	-	-
PC 2	%	-	-	-	95	95
PC 3	%	5	4.6	4.2	4.6	4.2
GMS	%	-	0.4	0.8	0.4	0.8
溶解粘度, 300°C						
50	Pas	-	361	-	-	-
100	Pas	398	359	-	223	-
200	Pas	382	334	-	222	-
500	Pas	337	284	212	205	118
1000	Pas	283	240	201	182	112
1500	Pas	243	210	178	164	105
5000	Pas	126	117	111	99	72
溶解粘度, 320°C						
100	Pas	-	184	-	-	-
200	Pas	214	180	-	98	-
500	Pas	198	167	130	95	60
1000	Pas	175	148	126	89	58
1500	Pas	158	134	119	84	56
5000	Pas	95	90	81	61	44
4 mmでの光学データ 黄色指数 (YI)		2.12	2.21	2.09	2.05	1.89

*: 比較例

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

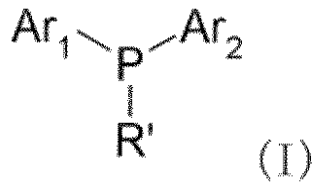
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

溶融ポリカーボネート、式 (I) :

【化 1】



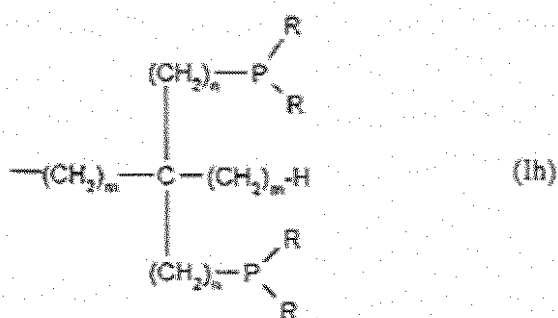
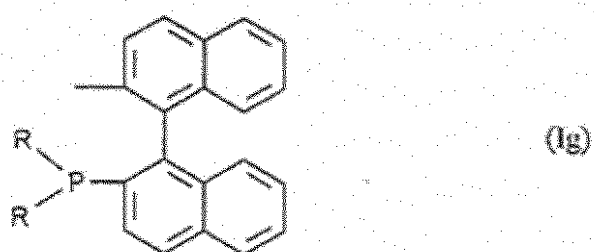
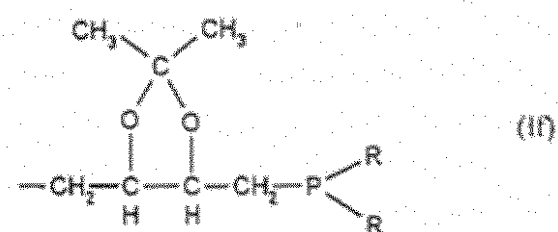
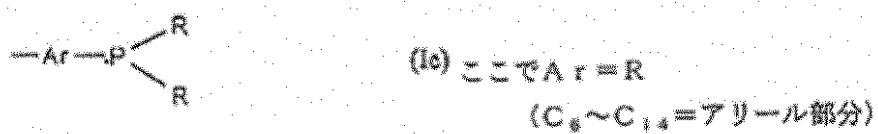
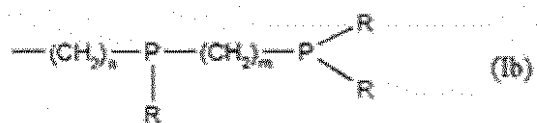
〔ここで、

Ar_1 および Ar_2 は、

同じまたは異なった、任意に置換されたアリール部分であり、

R' は任意に置換されたアリール部分または以下の (I a) ~ (I h) の部分の 1 つであり、

【化 2】



(ここで、

R は任意に置換された $C_6 \sim C_{14}$ - アリール部分であり、
n および m は、

それぞれ互いに独立して、1 ~ 7 の整数であり、部分 (I a) ~ (I c) の H 原子は任意に置換基で置換され、但し、式 (I) で Ar 部分が共にそれぞれ任意に置換された 4 - フェニル - フェニルまたは任意に置換された - ナフチルであるなら、R' も任意に置換された 4 - フェニル - フェニルまたは任意に置換された - ナフチルであってもよい)] の少なくとも 1 つのホスフィン、および少なくとも 1 つの脂肪族カルボン酸エステルを含有する組成物であって：

少なくとも 1 つのアルキルホスフェートをさらに含有し、

前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィンが、前記組成物の全重量に基づいて 1.0 ~ 20.0 mg / kg の量で使用され、

前記少なくとも 1 つのアルキルホスフェートが、前記組成物の全重量に基づいて 0.5 ~ 50.0 mg / kg の量で使用され、

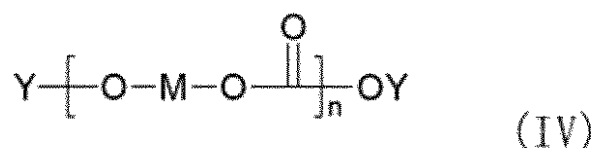
前記少なくとも 1 つの脂肪族カルボン酸エステルが、前記組成物の全重量に基づいて 5.0 ~ 80.0 mg / kg の量で使用される

組成物。

【請求項 2】

前記溶融ポリカーボネートが、式 (IV) の化合物を含有し、

【化 3】

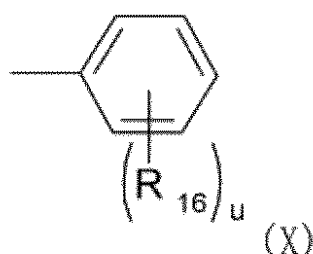


ここで、

大括弧は繰り返し構造ユニットを示し、

Y は H または式 (X) の基であり、

【化 4】



ここで、

R_{16} は同じまたは異なった、H、 $C_1 \sim C_{20}$ - アルキル、 C_6H_5 、または $C(CH_3)_2C_6H_5$ であり、かつ

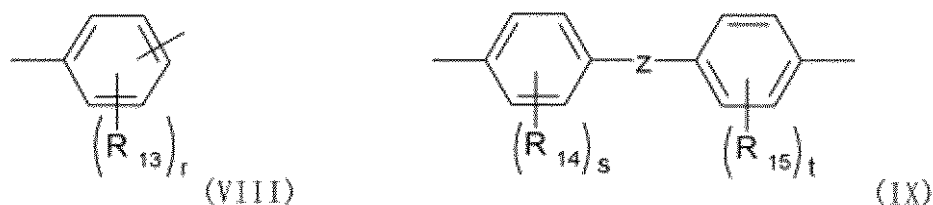
u は 0、1、2、または 3 であり、

M は Ar または多官能性基 A、B、または C、または基 D であり、

ここで、

Ar は式 (VII) または (IX) の基であり、

【化 5】



ここで、

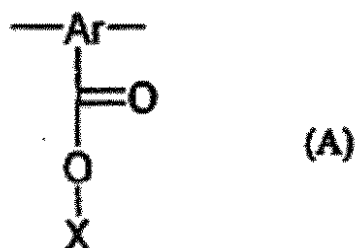
Z は $C_1 \sim C_8$ - アルキリデン、 $C_5 \sim C_{12}$ - シクロアルキリデン、S、 SO_2 、または単結合であり、

R_{13} 、 R_{14} 、および R_{15} は、互いに独立して置換または非置換 $C_1 \sim C_{18}$ - アルキル部分、好ましくは置換または非置換フェニル、メチル、プロピル、エチル、ブチル、Cl または Br であり、

r、s、および t は互いに独立して 0、1、または 2 であり、

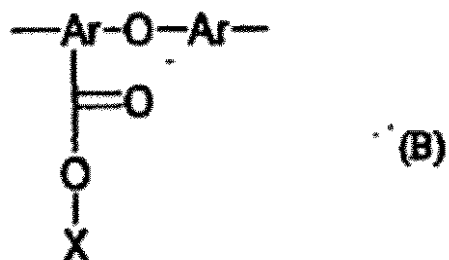
多官能性基 A は次の式の基であり、

【化 6】



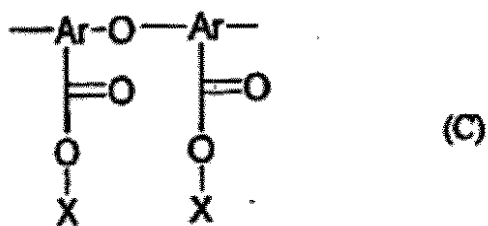
多官能性基 B は次の式の基であり、

【化 7】



多官能性基 C は次の式の基であり、

【化 8】

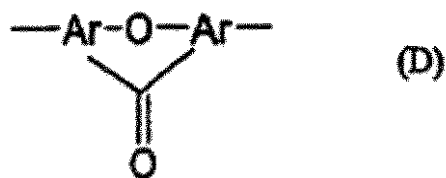


ここで、

X は、Y または $-[MOCOO]_n-Y$ であり、ここで M および Y は上で規定されたものであり、

基 D は次の式の基であり、

【化 9】



多官能性基 A , B、C および D 全体は 5 m g / k g である

請求項 1 の組成物。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィンが、式 (I) の化合物、その酸化形態、またはその混合物である請求項 1 の組成物。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィンが、トリフェニルホスフィン、その酸化形態、またはその混合物である請求項 1 の組成物。

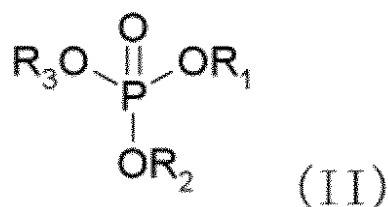
【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィンの 80 % までがその酸化形態である請求項 1 の組成物。

【請求項 6】

前記少なくとも 1 つのアルキルホスフェートが式 (I I) であり：

【化 10】



ここで、

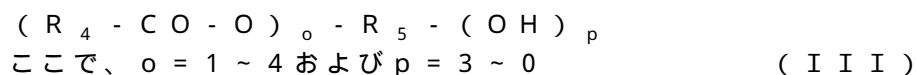
R_1 、 R_2 、および R_3 は、同じまたは異なった、H または線形、分岐、または環状アルキル基である請求項 1 の組成物。

【請求項 7】

前記少なくとも 1 つのアルキルホスフェートが、少なくとも 1 つのモノ -、ジ - またはトリイソオクチルホスフェート (トリス - 2 - エチルヘキシルホスフェート) を含有する請求項 6 の組成物。

【請求項 8】

前記少なくとも 1 つの脂肪族カルボン酸エステルが式 (I I I) の化合物であって：



ここで、

R_4 は、脂肪族飽和または不飽和、線形、環状または分岐アルキル部分であり、 R_5 は、一 ~ 四価の脂肪族アルコール $\text{R}_5 - (\text{OH})_{o+p}$ のアルキレン部分である

請求項 1 の組成物。

【請求項 9】

前記少なくとも 1 つの脂肪族カルボン酸エステルが、ペンタエリスリトール、グリセロール、トリメチロールプロパン、プロパンジオール、ステアリルアルコール、セチルアル

コールまたはミリスチルアルコールと、ミリスチン酸、パルミチン酸、ステアリン酸またはモンタン酸またはその混合物とのエステルを含有する請求項 1 の組成物。

【請求項 10】

前記溶融ポリカーボネートを、ビスフェノールと炭酸ジエステルとの溶融エステル交換反応を介して製造することを包含する請求項 1 の組成物を製造する方法。

【請求項 11】

前記溶融ポリカーボネートを、ヒドロキシおよび／またはカーボネート末端基を含有するカーボネートオリゴマー、ビスフェノール、および炭酸ジエステルとの縮合を介して製造することを包含する請求項 1 の組成物を製造する方法。

【請求項 12】

前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィンおよび前記少なくとも 1 つのカルボン酸エステルを、前記溶融ポリカーボネートの溶融ストリームへと、最終縮重合段階から下流の補助押出し成形機を介して導入し、前記少なくとも 1 つの式 (I) のホスフィン、前記少なくとも 1 つのカルボン酸エステル、および前記溶融ポリカーボネートをスタティックミキサー内で任意に混合することを包含する請求項 1 の組成物を製造する方法。

【請求項 13】

前記少なくとも 1 つのカルボン酸エステルを、メンブランポンプまたは他のいずれか好適なポンプを用いて、補助押出し成形機から下流でスタティックミキサーから上流で、前記溶融ポリカーボネートの溶融ストリームへと計量添加することを包含する請求項 1 の組成物を製造する方法。

【請求項 14】

請求項 1 の組成物から成る成形物。